

横浜市技能文化会館

平成23年度事業計画及び収支予算

1 施設の概要

施設名	横浜市技能文化会館
所在地	横浜市中区万代町2丁目4番地7
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上8階建て
敷地・延床面積	6,211.94㎡

2 指定管理者

法人名	株式会社キャリアライズ
所在地	東京都中央区八重洲1丁目3番22号
代表者	代表取締役社長 遠藤 卓実
指定期間	平成23年4月1日から平成28年3月31日まで

3 基本方針

< 拠点としての機能 >	
(1) 横浜市の技能職振興の拠点	・・・人で賑わう場として、技能職同士の交流と市民への技能文化の発信を強化
(2) 雇用・就業の拠点	・・・働く人の情報源として、情報・相談窓口の専門性を発揮
(3) 勤労福祉の拠点	・・・市民に愛される場として、勤労者の福祉増進・文化向上の拠点機能を発揮
< 運営姿勢 >	
(1) 安全・安心・快適	・・・公の施設として、維持管理を徹底し、多くの方に訪れて頂ける環境を提供
(2) 質の高さとコストダウンの両立	・・・創意工夫により経費縮減に努め、質の高さとコストダウンの双方を実現
(3) 平等・公平・法令遵守	・・・行政の代行者として、平等・公平な利用の確保とコンプライアンス（法令遵守）の徹底

4 事業計画

添付資料1「横浜市技能文化会館 平成23年度 事業計画書」参照

5 収支予算

添付資料1「横浜市技能文化会館 平成23年度 事業計画書」内、「収支予算書」参照

横浜市経済観光局雇用労働課 御中

横浜市技能文化会館
平成23年度 事業計画書

平成23年3月23日

株式会社キャリアライズ

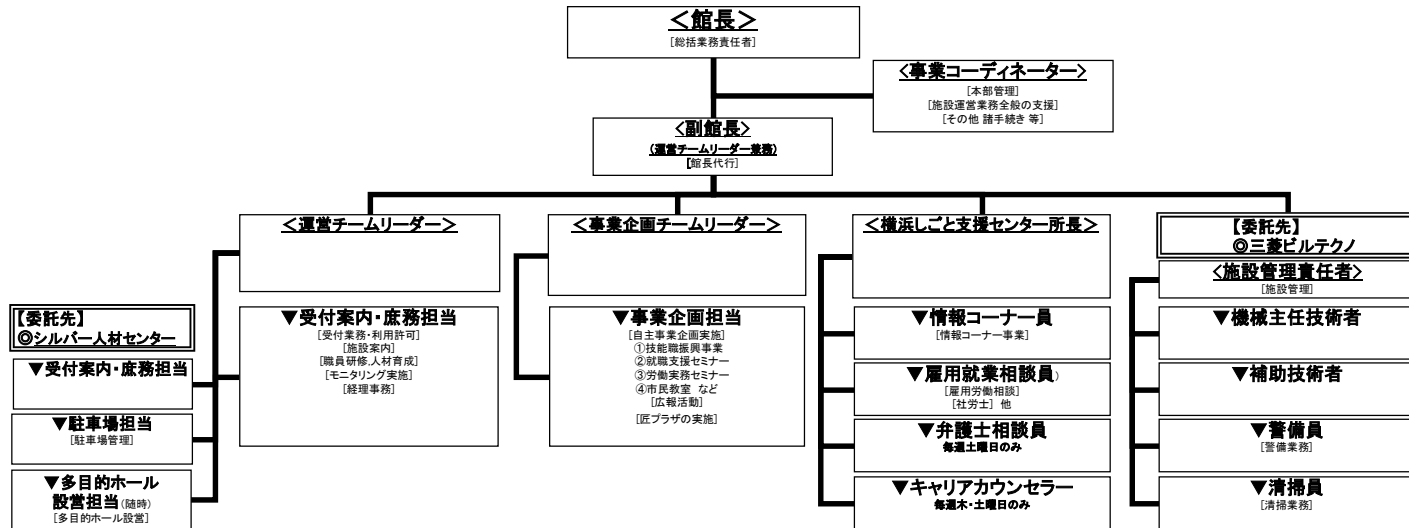
－ 目 次 －

<分類の概要説明>	1
<組織図>	1
1. 調査研究啓発事業	2
2. 相談事業	4
3. 情報提供事業	6
4. 新ネットワーク構築事業	7
5. 会館事業	9
6. その他の事業	15
7. 施設運営管理	16
8. 事業計画 年間スケジュール(案)	17
9. 平成23年度 収支予算書	18

＜分類の概要説明＞

No.	分類	概要
1	調査研究啓発事業	横浜市技能文化会館 全体。事業企画チーム主管。 の3つの設置目的「技能職振興」「雇用による就業機会の確保」「勤労者の福祉増進および文化の向上」の実施状況について、アンケートや直接交流等で多面的に調査研究し、活用・報告する。
2	相談事業	横浜しごと支援センターにて実施。横浜しごと支援センター主管。 雇用・労働に関する相談業務。「働く人の情報源」「橋渡し」としての役割を徹底し、独自の中立的存在価値を発揮する。雇用及び就業に関する相談窓口や情報の収集及び提供への取組みを行う。
3	情報提供事業	横浜市技能文化会館 全体。事業企画チーム主管。 3つの設置目的(技能職振興・雇用による就業機会確保・勤労者福祉増進と文化の向上)による事業の認知度向上・利用者数増加を図り、施設の存在価値を上げるため、各種情報提供を行う。 自ら実施する館内掲示やホームページの活用等と、外部のパブリシティや横浜市広報の活用等とを組み合わせる。
4	新ネットワーク構築事業	横浜市技能文化会館 全体。事業企画チーム主管。 「匠の技と魂(こころ)に出会う場所」横浜市技能文化会館の存在価値・付加価値を、事業によって広く発信し、各種ネットワークにつなげることで、最大限に高める。
5	会館事業	横浜市技能文化会館 全体。事業企画チーム主管。 3つの目的「技能職振興」「勤労者の福祉増進および文化の向上」を会館独自の事業として実践し、拠点施設としての機能・取組みを強化する事業。
6	その他の事業	横浜市技能文化会館 全体。運営チーム主管。 設置目的を踏まえ、より多くの技能職・勤労者・市民が活用する施設として、各種専門機能や拠点機能が発揮できる会館運営を行い、適正な事業収入を確保する。
7	施設運営管理	横浜市技能文化会館 全体。運営チーム主管。 多くの市民が訪れる施設として維持管理を徹底し、安全・安心・快適な環境を提供すると共に、創意工夫により経費削減に努め、質の高さとコストダウンの双方を実現する運営を行う。 また公の施設として平等・公平な利用の確保とコンプライアンスの徹底を施設運営管理の基本とする。

＜組織図＞



1. 調査研究啓発事業

分類	事業目的	方向性	具体的施策	事業内容	備考
技能職振興事業	技能職者・団体の実態調査と活動支援		技能職者へのアンケート実施 技能職団体との意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ●技能職者・団体の実態調査 横浜市内の技能職者へのアンケートの実施や、技能職団体との意見交換を行い、技能者の「今」に関する情報を収集し、発信する。 年1回(時期未定) ●技能職者・団体の抱えている課題に応じた事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○経営支援 ○販路拡大・新規顧客獲得 ○後継者育成 	
	一般利用者の実態調査		一般利用者へのアンケート実施	<ul style="list-style-type: none"> ●来館者の実態を把握【常時】 <ul style="list-style-type: none"> ○方法 事業参加者に加え、来館者に対してもアンケートにご協力頂く (1Fと各貸室に常時アンケートBOXを設置し、受付担当者より協力をご依頼)。 ○目的 施設的美観や接客対応などへの評価を伺うとともに、満足している点・改善が必要な点・新たに加えて欲しい点についての実態の把握を行う。 	
調査研究啓発事業	横浜市技能文化会館の活動情報や技能職振興・雇用による就業機会確保・勤労者福祉増進と文化の向上に係る情報発信のための収集		国、県、市の就業に関する情報の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●情報の収集 雇用及び就労に関する情報収集に関しては、各機関において(手段は別途研究)、雇用をめぐる最新情報の入手を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ○ハローワーク ○横浜市における雇用・就業に関する事業を担当している関連部署 (経済観光局雇用労働課、市民活力推進局、教育委員会等) ○「ハマワーク」、「ジョブマッチングよこはま」 ○雇用・能力開発機構 ○労働政策研究・研修機構 他 ●情報の発信 収集した情報を、利用者の方に発信する。 <ul style="list-style-type: none"> ○情報コーナー 月1回更新 ○ホームページ 随時 	
	雇用による就業機会の確保事業		求職者の活動支援 相談窓口・利用者・未利用者へのアンケート実施	<ul style="list-style-type: none"> ●事業効果の実態調査【常時】 <ul style="list-style-type: none"> ○方法 無記名式アンケート(参加者に対して、終了時) ○目的 下記事業効果の実態を把握する。 <ul style="list-style-type: none"> ◇自分を知る～キャリアカウンセリングの実施 (自分の特性や適性を把握) ◇相談する～専門性、実効性の高い相談体制の確立 (就業に向け専門家を配置) ◇職業能力を高める～専門家ネットワークを活用した、就業に役立つ各種セミナーの開催 ◇職業先を探す～相談員が行政の行っている職業紹介制度を紹介し、活用方法をアドバイス ●利用実態の調査【常時】 <ul style="list-style-type: none"> ○方法 無記名式アンケート(ご了解頂いた方に、手渡し) ○目的 他施設と連携し、当会館の認知度や利用促進を訴求する。 ○対象 関連機関を含めた、利用実態調査を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ◇横浜しごと支援センターのみ利用している方 ◇横浜しごと支援センターも他施設も利用している方 ◇他施設のみ利用している方 	

分類	事業目的	方向性	具体的施策	事業内容	備考
（しゅ） （せき）	勤労者の福祉増進及び文化の向上事業	勤労者の実態調査	市民に対するアンケート実施	<ul style="list-style-type: none"> ●勤労者の要望や課題の調査 勤労者の要望や抱えている課題、ニーズなどを知るため、新しい角度から(未利用者も含め)アンケートの機会を創出する。 ○対象 利用者・未利用者 ○時期 初年度1回(上期末) ●会館事業参加者からの評価・要望調査 事業内容に関する評価とともに、どのような事業を希望するかについて調査し、実態の把握を行う。 ○方法 アンケート ○対象 勤労者福祉の増進に資する会館事業(講座・講演会など)の参加者 ○時期 各事業終了時 	
		勤労者の活動支援	利用者懇談会(主催者)の設置・活用	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者懇談会の設置 当会館を利用されている勤労者グループにお集まり頂き、活動支援を行う。 ○目的 当会館で行われている、勤労者の文化活動増進に役立つサークル活動を、より活発化するため。 ○対象 匠の市民らぼ・匠の市民さーくる等(他自主的な活動も含む)の代表者 ○時期 年1回(技能文化会館フェア実施時) ●利用者懇談会の活用/設置による実態把握の活用 利用者懇談会から得たご意見・ご要望を、以下の通りに活用する。 ○活用策 ◇市民への活動報告 横浜市技能文化会館を活用して頂いた結果として、一般市民に機関誌等を活用し、活動報告を行う。 ◇利用者与会館の交流 利用者懇談会からのご意見・ご要望に対し、個別に回答し、対応を優先順位付けと理由も明示した掲示等を行うことで、透明性の高い会館運営を実現する。 	
	調査結果の活用	各事業の調査結果研究・活用	<ul style="list-style-type: none"> ●調査結果の研究・活用 収集した事業参加者および来館者のご意見・ご要望は、事業企画や事業実施および管理運営全般への改善提案と受けとめ、活用する。 ○取組み方針 一つずつ対応策を検討し、重要性・緊急性・必要性を考慮しながら改善活動に取組む。 ○特に注意する視点/講座・事業内容への反映 ◇講座企画のマンネリ化打開 (特定の方のみが参加される内容となっていないか)、 ◇事業内容(講師選定を含む)の参加者のニーズレベルとのずれ解消 ⇒顧客満足度の高い講座へ ◇相談員のレベル向上 ●調査結果の報告 上記のアンケートの集計結果は、市民からの貴重なご意見として、市への事業報告書に添付する。 		

2. 相談事業

分類	事業目的	方向性	具体的施策	事業内容	備考
相談事業	横浜ごと支援センターは、「働く人の情報源」＝「橋渡し」としての役割を徹底し、独自の中立的存在価値を発揮する。	雇用及び就業に関する相談窓口や情報の収集及び提供への取組み	雇用及び就業に関する相談業務	<ul style="list-style-type: none"> ●全対象への相談業務 雇用就業相談員が、アドバイスを行う。 ○職業紹介制度の活用法 ハマワークやジョブマッチングよこはま、かながわ求職者支援センターなど、行政や民間が行っている職業紹介制度を上手く活用する方法について助言し、支援する。 ○ハローワークの活用法 ハローワークで実施しているキャリアカウンセリング、支援セミナー、緊急雇用対策情報など、ハローワーク利用の仕方を支援する。 ○キャリア・カウンセリング／木・土曜日 他応相談。9:00～17:30。 ●未就業者への相談業務 適性適職診断ツールやビジネススキルチェックシートなどを導入。きめ細かく相談に対応する(今期中)。 ●就業者への相談業務 ○就業中 働く方のメンタル面の相談(例えば過重労働、職場のストレス、ハラスメント)や不当労働行為の相談に対応できるように、相談受付が可能な職員を配置する。 ○求職中 単なる相談対応の他、カウンセリングを通して履歴書の書き方、面接対応等実効性のある相談対応を実施し、早期の雇用が可能になるよう支援する。 	
			就労施設活用セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜ごと支援センターの特徴を活用／働く人の情報源・橋渡し機能⇒施設活用 どなたでもご利用頂ける、橋渡し機能を特徴とする施設である。この特徴を活かす。 ○幅広い就労施設情報の発信 横浜市はもちろんのこと、県・国・民間企業・各種団体の施設も含め、各就労施設の対象者、活用方法、特徴等を把握し、求職者に有益な情報として伝え、サポートするためのセミナーを実施する。 ○時期・費用 随時・無料(他施設事業と連動)。 	
			就労制度・助成金活用セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜ごと支援センターの特徴を活用／働く人の情報源・橋渡し機能⇒制度・助成金活用 ○幅広い就労制度・助成金情報の発信 横浜市・県・国・民間企業・各種団体の就労制度・助成金を、利用者にとってわかりやすく、使いやすい形でご活用頂くことをサポートするためのセミナーを実施する。 ○時期・費用 随時・無料(他施設事業と連動)。 	
			「相談する」就労支援セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ●対象層限定 就労支援セミナー ●利用実態調査を反映させたセミナーの実施 雇用による就業機会の確保事業における、実態調査の結果を踏まえ、より現実的なセミナーを実施する。 ○方針 他施設の支援対象から抜けている層への支援セミナーを実施し、横浜ごと支援センターならではの差別化を図る。 ○想定 現時点では、父子家庭・技能職を目指す男性を想定。 表現としては、「ひとり親」とする。 その場合、子育て支援、生活相談、ひとり親の就労相談等の情報提供ができるセミナーの開催。この他、実態に応じて、適宜対象者やテーマを設定し、それに対応したセミナーを実施する。 ○対応 実施過程で調査・研究を進め、適宜利用者ニーズに合わせて調整して行く。 ○時期・費用 随時・無料(他施設事業と連動)。 	
			弁護士相談に関する業務	<ul style="list-style-type: none"> ●法律問題に特化した相談への対応／土曜日。13:00～18:00 弁護士を配置し、雇用及び就業に関する相談業務のうち、法律問題に特化した相談に対応する。 ●情報の共有化 法律相談は、トラブルになりがちなケースを事前に把握することにより、回避することが多い。情報の共有化をはかり、啓発に努める。 	

分類	事業目的	方向性	具体的施策	事業内容	備考
（こし） （せ）	（つづき）	専門性の確保及び関係機関との連携	専門性の高い人材確保	<ul style="list-style-type: none"> ●外部専門家の確保・発掘 社会保健労務士、弁護士、キャリアカウンセラー及び産業カウンセラーを配置し、専門性を確保する。 これら人材の確保に際しては、現在相談業務や就職支援セミナーを担当している専門家を有効に活用すると共に、地域から新しい人材の発掘を行う。 ●株式会社キャリアライズ社内の有用人材の確保 社内での有資格人材の異動、あるいは指定管理者として再就職支援事業を実施している川崎市男女共同参画センターとの連携を図り、人材の確保を行う。 ●適材適所の実施 相談内容を把握し、業務改善計画を7月に作成、人材の適材適所に努める。 	
			相談対応の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●相談対応の研鑽【常時】 相談対応の質の向上を図るため、センター内で情報共有に努めるとともに、内部勉強会や外部の研修会等を活用。常に専門性が高く、実効性のあるサービスの提供が行えるようにする。 	
			関係機関との連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関との密接な連携 横浜ごと支援センターの所管部署である市経済観光局市民経済労働部雇用労働課の指導を仰ぎながら、関係機関と情報を密にし、市の雇用・就業支援関連事業等に関する情報を収集、利用者への情報提供をはかる。 ●役割の再定義 ハローワーク、ジョブマッチングよこはま、神奈川若者就職支援センター、中高齢者就職支援センターなど国や神奈川県、横浜市の雇用・就業支援機関と連携し、地域性や就業希望者それぞれのニーズ・状況にあった支援を行い、役割を再定義する。 ●連絡会議出席による連携 連絡会議への出席により、情報の共有としごと支援センターの存在感を高める。 適宜、課題・目的を持って参加する。 雇用労働課(2ヶ月に1回)、神奈川県労働センター(年に1～2回)開催 ●メンタルへの対策 雇用情勢の長引く悪化から、メンタルに問題を抱える利用者の潜在的増加が想定される。これら利用者に対応し、必要に応じて、適切な治療機関への橋渡しを実現するため、産業医や精神科医といった専門家、医療系機関との連携を強化する。 また、他就労機関(若者サポートステーション等)との連携も図る。 	

3. 情報提供事業

分類	事業目的	方向性	具体的施策	事業内容	備考
情報提供事業	横浜市技能文化会館と3つの設置目的(技能職振興・雇用による就業機会確保・勤労者福祉増進と文化の向上)による事業の認知度向上・利用者数増加を図り、施設の存在価値を上げる。	ホームページによる、より効率的・効果的な情報発信	ホームページの定期更新 (最新情報の提供や、技能職団体・技能職者の情報を発信) メールマガジンの活用	横浜市技能文化会館としての情報はもちろんのこと、横浜市技能職団体連絡協議会や青年部、および44職種46団体を紹介するホームページを作成し、作品や仕事内容を一般に広く伝える。 メールアドレスを登録して下さった方向けに、メールマガジンを発行し、積極的に情報発信して行く。	
		横浜市技能文化会館の活動情報や技能職振興・雇用による就業機会確保・勤労者福祉増進と文化の向上に係る情報提供を目的とした広報物の発行	機関誌・ビデオ製作 イベント案内方法の工夫 市民に対するアンケート実施	技能職者への取材により、横浜市技能文化会館の事業や活動内容を市民に伝える情報誌・ビデオ動画を製作・発行し、施設認知度を向上させる。 技能職者の販路拡大につながる情報を提供する。 年3回程度。 展示即売・商談イベントに合わせ、集客につながるようなパンフレット・情報誌を活用し、積極的に情報発信していく。 23年度における全事業の結果及び検証を冊子として作成し、視察受け入れや事業紹介時、市内の関係部署・機関及び技能職関連団体へ配布。	
		横浜市技能文化会館の認知度向上・利用者数増をめざした広報活動の強化	パブリシティ活動の強化	ミニコミ誌、FMよこはま等、新聞・雑誌・テレビといったマスコミへ、23年度に実施する講座やイベントに関して広報活動を実施し、横浜市技能文化会館の活動状況を、自発的な話題作りや関係者訪問といった活動により発信していく。	
		会館内情報提供環境の整備	匠プラザの活用 技能職振興 就労支援 勤労者福祉	横浜マイスター紹介コーナー等によって、匠の技と魂(こころ)の魅力を発信して行く。 (詳細は、分類「会館事業」の項参照) 館内の啓発ビデオ上映、年間を通じた計画的な掲示、および市民サークル活動等の紹介により、人目を引くだけでなく、リピーターの確保も狙った、掲示板の活用を行う。	
		横浜市広報との連携	実施講座等の事業の様子を周知	横浜市報と区報を活用し、実施講座等のご案内や、実際の様子などを周知し、施設の認知度を向上させ、利用者数の増加を図る。 利用者に使用イメージを伝えることで、貸館利用の促進を図る。	
		横浜しごと支援センター内情報コーナーの活用	雇用情報提供	●相談員による窓口業務では、対象者に合わせた情報提供を実施する ●利用者自身が利用しやすい、情報提供力の強化⇒専門図書館・情報センター化 横浜しごと支援センターは働く人の情報源であり、横浜市技能文化会館は技能職の振興を事業目的としている。これらの目的に絞った情報の品揃えを強化する。 その上で、利用者自身が自主的に雇用情報をわかりやすく入手できる工夫を行い、検索性を高める。 ○紙媒体の陳列 情報を入手したい利用者にとってわかりやすい、パンフレットの陳列を行う。 具体的には、テーマ別・対象別・年齢別等での分類や、利用者の情報活用レベルに応じた段階的な陳列をする。情報活用レベルの低い初心者には、初めから豊富な情報があるとかえって混乱し、理解の妨げとなるため、陳列資料は最小限とし、後は関心が高まってから引き出し内の資料を入手する形態を取る、等の工夫を行う。 ○紹介情報の活用方法の紹介 陳列した情報の申請方法・手続き等の、具体的に利用する際に必要な方法を伝える資料や掲示方法を工夫する。 ○パソコン利用 配置されたパソコンを有効利用頂けるよう、環境整備を行う。 ○新規図書 利用者ニーズや状況に応じて、必要な新規図書を購入し、有効利用して頂く。 ○デジタル媒体の検討 DVD等、就労支援をサポートする品揃えを検討する。 (面接対策等)	

4. 新ネットワーク構築事業

分類	事業目的	方向性	具体的施策	事業内容	備考	
新ネットワーク構築事業	「匠の技と魂(こころ)に出会う場所」横浜市技能文化会館の存在価値・付加価値を、事業によって広く発信することで、最大限に高める。	平等・公平な利用の確保	公募による募集	<ul style="list-style-type: none"> ●位置づけ 横浜市技能文化会館は、平等・公平な利用の確保を行うため、公募による透明性の高い募集を基本とする。 ●目的 横浜市民の皆様に愛される施設であり続けるため。 ●方針 企画内容・講師の募集を、公募とする。結果も含め、横浜市民の皆様に館内掲示やホームページ等を活用し、情報発信する。 ●内容 匠の市民らぼ／さーくるの講師・見本市・「あなたの街の匠」・技能職まっぶ等の公募を実施する。 		
		総合的なアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市技能文化会館フェアの開催 ・地域イベントへの協力 	横浜市技能文化会館 主催／協催	<p>会館全体の認知度アップや各種アプローチのきっかけづくりとして、技能文化会館自身が主催／協催するイベントを促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●技能文化会館フェア 年1回・2～3月。 <ul style="list-style-type: none"> ○目的:「匠の技と魂(こころ)に出会う場所」として、出合いの化学反応を起こす。 ○主催:横浜市技能文化会館 ●地域イベント・活動(地域清掃等含む)への協力 随時。 	
		個人へのアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> きっかけづくり ⇒継続・定着 ⇒交流・発展 	横浜市技能文化会館 主催／協催	<p>インターネットや各種媒体を活用して、関内地区の住民や勤労者といった近隣の市民へのアプローチだけではなく、関外地区の市民へのアプローチも実施する。その際、3つのプロセスによる、新規利用者から継続利用者への進行・発展を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●きっかけづくり 主として、まだ当会館を利用したことがない方を対象に、文化活動をはじめのきっかけを提供する。 「入門講座」・「連続講座」・「技能文化会館フェア」 ●継続・定着 当会館を利用したことがある方が、文化活動に対して、単発的ではなく継続的に関わりあえるように支援する。 「さーくる・スタートアップ・サポート制度」・「市民さーくる掲示板」 ・「市民さーくる募集チラシ」・「ボランティア活用」 ●交流・発展 当会館での文化活動を契機として交流が生まれ、発表の機会などを通じてさらに文化活動が発展するように図る。 「創作発表展」・「市民映画会」・「ホームページでの情報発信」 	
		企業へのアプローチ	技能職者・団体の販路拡大	横浜市技能文化会館 主催／協催	ホームページでの情報発信と併せ、将来的には他都道府県での技能職者の共同販売など、出前事業での販路拡大機会を提供する。	
			雇用先の情報の開拓	横浜市技能文化会館 主催／協催	中小零細企業・技能職向けセミナーを実施し、雇用先情報の開拓を行う。	
			勤労者福祉	横浜市技能文化会館 主催／協催	企業における福利厚生施設としての利用価値を訴求し、催事のご案内をお届けするなど、交流を広げる。	
		団体・機関等へのアプローチ	匠の出前講座準備、ヒアリング活動の展開	横浜市技能文化会館 主催／協催	<ul style="list-style-type: none"> ●2つの目的 <ul style="list-style-type: none"> ○後継者育成 後継者育成につなげる活動として、市民グループ・団体や教育関係機関(小中高校・専門学校・大学・インターナショナル・スクール・職業訓練校等)、市民館、行政などへの出前講座や研修・講師派遣を行う。 ○地域・社会貢献 匠の技と魂(こころ)を、広く地域・社会貢献として還元するために、各種福祉施設や団体等へのアプローチを行う。 ●匠プラザにおける、匠の出前講座の準備 匠の出前講座の準備段階として、プログラムや講師等の情報を整理する。 ●ヒアリング活動の強化 横浜市技能文化会館と共に活動してきた地域の市民グループ・団体へのヒアリング活動を実施する。横浜マイスターを活用し、キャリアの可能性を開拓する。 	

分類	事業目的	方向性	具体的施策		事業内容	備考
（つづき）	（つづき）	他機関との連携	他機関の会議や研修参加による情報交換	他機関	<p>当社が指定管理を行っている他の施設等との連携を活かし、また近隣・関連施設との情報交換を促進する。リーフレット等の設置・協催イベントの実施・情報交換や共有他。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●当社指定管理施設 <ul style="list-style-type: none"> ○川崎市男女共同参画センター(愛称:すくらむ21) ○港区立男女平等参画センター(愛称:リーブラ) ○練馬区立リサイクルセンター ○江東区男女共同参画推進センター(愛称:パルシティ江東) ●当社運営施設 <ul style="list-style-type: none"> ○電気の史料館 ●近隣・関連施設 <ul style="list-style-type: none"> ○就労支援関連施設 <ul style="list-style-type: none"> (ジョブマッチングよこはま/神奈川求職者支援センター/神奈川福祉人材センター/神奈川若者就職支援センター/シニア・ジョブスタイル神奈川/神奈川人材銀行/マザーズ・ハローワーク/横浜市母子家庭等就業・自立支援センター他) ○横浜市民文化会館 関内ホール ○横浜市教育文化ホール ○横浜文化体育館 ○横浜市開港記念会館 ○横浜情報文化センター 他 	
		専門家ネットワークとの連携	技能職振興	関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ●技能職者・技能職団体 <ul style="list-style-type: none"> 横浜市技能職団体連絡協議会(以下、「技連協」という)をはじめとする、技能職者・技能職団体との連携を図る。 ●技能職者を支援する専門家 <ul style="list-style-type: none"> 技能職者に対する専門性の高い経営支援事業を実施するための、専門家ネットワーク(中小企業診断士や税理士など)の活用を図る。 	
			就労支援		<ul style="list-style-type: none"> ●求人側 <ul style="list-style-type: none"> 中小企業診断士や税理士など、必要な専門的助言をいただける方とのネットワークを活用する。 ●求職側 <ul style="list-style-type: none"> キャリアカウンセラー・産業カウンセラーといった、講師として活躍いただける方とのネットワークを活用する。 	
勤労者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ●主催講師の拡充 <ul style="list-style-type: none"> 匠の市民らぼ(旧 市民教室)・匠の市民さーくるを主催して下さる、各種講座の講師とのネットワークを拡充し、利用者にとって魅力ある講座を適宜開催する。 ○既存講師 <ul style="list-style-type: none"> 匠の市民らぼ(旧 市民教室)講師のネットワークを活用する。 ○公募 <ul style="list-style-type: none"> 広く横浜市民を対象とし、講師として活躍されたい方を公募する。 					

5. 会館事業

分類	事業目的	方向性	具体的施策	事業内容	備考
会館事業	横浜市技能文化会館の3つの目的「技能職振興」「勤労者の福祉増進および文化の向上」を事業として実践し、拠点施設としての機能・取組みを強化する。	25周年記念事業	全館共通 通年テーマとして実現	<ul style="list-style-type: none"> ●25周年記念事業の展開 2011年4月より、横浜市技能文化会館は25周年となる。 25周年を記念とした、テーマ事業を第1回 技能文化会館フェアとする。 ●目的 横浜市技能文化会館の認知度向上、イメージアップ ●方針 会館事業において、25周年をテーマとして強調する。 ●内容 25周年をテーマとした、匠プラザでの展示や、各種講座・催し物を実施する。 横浜市技能文化会館のロゴや、会館グッズ等を公募する。 	
		技能職振興事業	匠プラザ	<ul style="list-style-type: none"> ●位置づけ 匠プラザを会館の顔として、常に人で賑わう場所とする。 新規体験プログラムのモニタリング・足固めの場とする。 ●目的 利用者へのアプローチにおける「きっかけづくり⇒継続・定着⇒交流・発展」サイクルを好循環させる。次年度以降の「匠の出前講座」の方向性を探る。 ●方針 技能職の「技」と「こころ」を多くの市民に感じていただく機会を強化する。 そのため、基本展示と参加型展示、イベント性を高める企画を組み合わせ、常に新鮮な刺激をご提供することで、新規の利用者はもちろんのこと、リピーターも獲得できる場所とする。 広く技能職者全般に場の提供をする。 ●基本展示 常設展示・横浜マイスター紹介コーナー ●集客性を高める展示・ツールの開発 <ul style="list-style-type: none"> ○参加型展示 体験型常設展示(月1回/土・日・祝日)・クイズシート等の参加型イベント等 ○イベント性を高める企画 実演イベント(物品販売や注文受付を実施)、テーマによる企画展等、五感を刺激し、イベント性＝ストーリー性(ドラマ性)を感じられるような、魅力ある企画向上に取組む。 ○集客力のあるプログラム提供 修学旅行の教師・生徒や旅行企画担当者が参加の意思決定をしやすくなるような、事前学習シート、体験型ワークショップ等、プログラム内容がイメージしやすい工夫をする。 ●集客活動 横浜市の施設の一員として、小中学校、各種団体などへの誘致活動はもちろん、他県・国への誘致活動にも参加し、利用者数を増加させる。 例：横浜観光コンベンション・ビューロー 	
			匠の魂(こころ)講座 (旧 職人から学ぶ講座)	<ul style="list-style-type: none"> ●当初6ヶ月の方針 現管理者が実施し、引き続き市民に好評を得ている本事業を継続することとする。 ●下期からの方針 名称を変更し、新しく発展させた形態で実施する。 技能職の仕事をもっと市民に身近に感じていただけるよう、広報機能の一層の強化という効果も狙う。 ○目的 プロフェッショナルとしての匠の技と魂(こころ)を伝える講座とする。 ○方針 一部の団体に偏ることなく、多方面の団体から講師協力を得られる事業として、新たな企画への挑戦を行う。 ○付加機能 講師となる技能職者にとって、マーケティングの場として頂く。 ユーザーのニーズ把握や販路拡大などのメリットを享受できる場。 ○開催回数・想定規模 初年度12回・10～30人/回。 	

分類	事業目的	方向性	具体的施策	事業内容	備考
（き） （し） （し） （き）	（つづき）	（つづき）	匠の出前講座 （旧 職人から学ぶ講座（出前事業））	<ul style="list-style-type: none"> ●位置づけ 平成24年度に向けた、検討事業とする。 「きっかけづくり⇒継続・定着⇒交流・発展」サイクルの中の、「きっかけづくり」と「交流・発展」に関わる事業として、位置づける。 ●目的 技能職の方々の認知度向上・後継者育成支援・マーケティングの一環 ●方針 技能職の方にとっての参加型の視点も強化する。プログラム構築から関わって頂く。 鎌倉、藤沢、名古屋といった他の技能職団体の事例も参考にする。 ●内容 ○定型プログラムの提供 市内の小・中学校へのヒアリング、ホームページからのアンケート機能等を活用し、一般にニーズの高い標準の定型プログラムを予め準備し、ご提供する。 ○オーダー・プログラムの提供 出前事業希望者のニーズに合わせ、オーダーによるプログラム提供も行う。 その際、定型プログラムの改変も考慮する。 ○実施回数 初年度トライアルとして、適宜。 	
			技能職団体の活動サポート	<ul style="list-style-type: none"> ●サポート内容 事務支援を行う。 ●特典・優遇策によるサポート 設置目的である「技能職振興」に関連する、技能職団体および技能職者向け特典・優遇策を企画し、活動をサポートする。 	
			技能職者交流ラウンジ	<ul style="list-style-type: none"> ●交流ラウンジのご提供 技能職者の交流ラウンジ（5階）を設置し、無料開放、情報交換の場として機能させる。 技能職者向けの打ち合わせ・交流スペースとして頂く。 ●交流ラウンジで発信する情報 スペースのご提供と共に、各種情報交流を行い、賑わいのスペースとする ○技能職者・団体からの情報 ◇技連協各団体の近況を報告する掲示版 ◇パンフレット展示 ◇商品物品やサービス内容の展示 ○横浜市技能文化会館からの情報 ◇職人から学ぶ講座の実施レポートの掲示 ◇ネットによる拡販情報の提供 ◇各種助成金・給付金のご案内 ◇後継者育成支援施策のご提供 	
			異業種交流イベント	<ul style="list-style-type: none"> ●目的 交流会を設定する。 講演会と懇親会を組み合わせることで、新たな気づきの獲得と人脈の構築を目指す。 ●対象 異なる分野の技能職者同士 ●方針 開催に際しては、「単に大勢が集まる場」ではなく、本当に意見交換を行い 今後も情報交流を継続的に行っていく機運が醸成できるようにする。 ●内容 紹介カード交換など、異業種交流を促進するための設営技術を取り入れて実施する。 また、経営に関する講演会などを実施することで、問題意識の共有や啓発などにも 合わせて取り組む。 ●開催回数・想定規模・費用 初年度2回・30～50人・懇親会費として実費。 	

分類	事業目的	方向性	具体的施策	事業内容	備考			
（しゅ） （ね）	（つづき）	（つづき）	他事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜市技能功労者の表彰 ●横浜マイスター事業 ●横浜マイスターまつり 年1回・11月。 <ul style="list-style-type: none"> ○目的:技能職振興 ○主催/共催:横浜マイスター会/横浜市経済観光局 ●よこはま技能まつり 年1回・10月。 <ul style="list-style-type: none"> ○目的:技能職振興 ○主催:横浜市技能職団体連絡協議会(以下、「技連協」と言う) ●他局との連携 各年1回程度。 <ul style="list-style-type: none"> 例:子どもアドベンチャー ○目的:子どもの、仕事体験 ○主催:横浜市、横浜市教育委員会 				
			経営支援	専門家による経営相談 市の中企業支援センターの経営相談窓口など、市が実施しておられる各種経営相談の窓口情報を提供する他、専門家による経営相談を実施する。				
			後継者育成	インターンシップ 小規模事業者ならではの経営課題(例:世代交代に向けた事業継承、家計と事業をきちんと区別する記帳や家族を含む従業員の労務管理など)を解決する経営支援講座を実施する。				
		雇用による 就業機会確保事業	（つづき）	「自分を知る」	*1 勤労者アセスメント	キャリアカウンセリングの一環として、希望に応じて実施。 厚生労働省編一般職業適性検査GATB、VPI職業興味検査、職業レディネス・テスト等。 無料。		
					テーマ別 ディスカッションの実施	様々な価値観、物の考え方、見方に触れる機会を提供し、多角的に自己理解する場として、他社から見た自分を理解することで、就労活動に活かす。 対人関係に課題を持っている方を対象とする。無料。		
				就職・転職準備 PC講座	<ul style="list-style-type: none"> ●目的 実際のビジネス現場で必要とされるPCスキルを身につけ、就職・転職準備をして頂く。併せて、PCスキルへの自信を持って頂く。 ●方針 就職・転職に役立つ、ワード・エクセルを中心とした基礎～中級講座を実施する。漠然とパソコンスキルの低さに不安を感じている受講者が、自信を持って応募・面接に臨めるよう、支援する。 ●内容 ○ポイント 具体的には、ビジネス文書の書き方や作成時に必要とされる時間感覚、作成ルールを身につけ、実際のビジネス現場で必要とされるレベルの内容とする。 ○開催回数・想定規模・費用 月1回・8人・3,500円/人。 			
「職業能力を高める」 スキルアップ	*2 資格・コンピテンシー 支援講演会	<ul style="list-style-type: none"> ●位置づけ きっかけづくりであり、職種別に必要な資格やコンピテンシーを理解し、実際のしごとの結び付けを行う。 ●目的 就職・転職をするにあたって、資格とコンピテンシーの両面から、実際のしごとと結び付け具体的なイメージを持って頂く。 利用者が、現時的な行動を起こして就労につなげようという「やる気」と「行動力」をアップさせることを目的とする。特に、横浜市での有効求人倍率上位と関連付ける。 ●内容 ○講演会 どの資格を取得すれば、どのような仕事に就けるのか、複数の資格を組み合わせることで、その後のキャリアアップがどのように図れるのか。 あるいは、なりたい職種には、どんなコンピテンシーが必要なのか、自分の今あるコンピテンシーをどのように伸ばせば良いのか。 利用者が具体的に自分の現状と未来＝ゴールを設定し、そこに至るまでの方法＝プロセスをイメージできるようにするための支援講演会を開催する。 ○情報提供 利用者ニーズに応じて、マンション管理士、販売士など、資格取得のための試験内容や学習情報など最新情報満載の講演会を実施する。 実際の職種に応じて、必要とされる具体的なコンピテンシー情報を提供する。 ○開催回数・想定規模・費用 各年3回・60人・無料。 						

*1 アセスメント:質問紙等による保有能力の多角的な評価・分析

*2 コンピテンシー:役職や職種等、個別の状況において、期待される成果をあげられる人材の特性

分類	事業目的	方向性	具体的施策		事業内容	備考
(つづき)	(つづき)	(つづき)	(つづき)	資格取得講座	<ul style="list-style-type: none"> ●位置づけ スタート/しごとに結び付く、資格取得への入門編 ●目的 実際の就労に結びつける。 ●方針 横浜市内の有効求人倍率の高い業種・職種から、就労しやすい仕事につながる、資格取得入門講座とする。 ●内容 <ul style="list-style-type: none"> ○有効求人倍率との整合性 ハローワークで発表される毎月の雇用統計等より、講座の内容は、定期的な見直しを図る。現時点では、有効求人倍率 第1位 保安・警備 → マンション管理士入門講座 危険物取扱者、消防設備士、機械警備管理者等 第2位 サービス・小売 → 販売士入門講座、介護事務、ヘルパー 等 ○横浜ならではの強みの活用 観光も強みの一つ。横浜という立地ならではの特質を活かした、単なる資格のための講座ではない、しごとに就くための講座によって、就労を支援する。 	
				スキルアッププログラム	<ul style="list-style-type: none"> ●位置づけ 就労支援プログラムの中の、応用編 ●目的 ビジネスに必要な基礎ポイントを押さえた上で、具体的な場面を想定し、そこでどのように対応したら良いのかという応用力を身につける。 ●方針 スキルアッププログラムや職場適応プログラムとする。 ●内容 <ul style="list-style-type: none"> ○例 効果・効率的な仕事の進め方研修、タイムマネジメント研修、プレゼンテーション研修、コミュニケーションスキル向上研修、クレーム対応力研修、ビジネス実務法務研修、ビジネス文書作成等。 ○開催回数・想定規模・費用 各年1回・15人・15,000円/回(教材費別)。 	
				ストレスマネジメントプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ●位置づけ 就労者・未就労者の心理的支援・福祉増進。 ●目的 横浜市技能文化会館に足を運んで頂くことで、総合的で継続的なサポートを図る。 ●方針 就労者・未就労者を問わず、自己管理のために必要な、ストレスマネジメントプログラムを提供する。 ●内容 <ul style="list-style-type: none"> ○例 ストレス解消法、リラックス講座等 ストレスマネジメントプログラム 芸術コース 他 ○開催回数・想定規模・費用 初年度6回・20人・5,000円/回 	
			「就職先を探す」アドバイス	雇用就業相談員による相談会	<ul style="list-style-type: none"> ●位置づけ 個別相談以外に、様々な相談手法を実施する。 ●内容 <ul style="list-style-type: none"> ○イベント形式のセミナーや相談会 複数のキャリアカウンセラーや専門家による、就職相談会や支援セミナー、ハローワーク利用の活用法等。 ○パネルディスカッション 人事採用担当者、学校進路指導・キャリアセンター関係者、求職者の3方向から、参加者募集。 ○開催回数・想定規模・費用 初年度2回・100人・無料 	

分類	事業目的	方向性	具体的施策		事業内容	備考
（き） （し） （じ）	（つづき）	（つづき）	労働実務セミナー	経営者・人事担当者向け労働実務プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ●位置づけ 対象企業・ターゲット層に応じた、労働実務プログラムとしてのセミナー ●内容 <ul style="list-style-type: none"> ○テーマ別 <ul style="list-style-type: none"> 労働法基礎セミナー、労働基準法の労働時間の原則とその対応方法について学ぶセミナー、経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)、企業のための派遣労働雇用のエッセンス、パートタイム労働者と雇う方のためのセミナー、STOP!セクハラ～防止対策&人事労務担当者の役割等。 ○関連部局の政策とタイアップ 連絡会議を有効活用し、PRも兼ねて、関連部局の政策(ワーク・ライフ・バランス、DV等)とタイアップしたセミナーを実施する。 その際、企業の実態レベルを考慮し、政策と実態との融合を図る。 例：神奈川労働局と次世代育成支援 他 ○開催回数・想定規模・費用 各年3回・30人・無料(資料代実費負担)。 	
		勤労者の福祉増進 ／文化の向上事業	匠の市民らぼ (旧 市民教室)		<ul style="list-style-type: none"> ●位置づけ 横浜市の施設である会館として、カルチャーセンターとの差別化を図る。 ●目的 「勤労者の福祉増進／文化の向上」という実施目的に焦点を絞る。 ●方針 「きっかけづくり⇒継続・定着⇒交流・発展」という、文化活動に関わるステップに着目した、体系的な講座・事業への取組みを行い、「きっかけづくり／匠の市民らぼ(旧 市民教室)」から、自主的な市民サークル活動(「匠の市民さーくる」)への移行を促進する。 ●対象 勤労者(幅広い年齢・属性の方)／新規参加者優先 ●内容 幅広い勤労者の顕在的・潜在的ニーズに合致した内容とする。 他の2事業との親和性を考え、技能やしごとにつながるものを強化する。 ●時間 勤労者ニーズの観点から、夜間・休日の新規開催を検討する。 	
			匠の市民さーくる		<ul style="list-style-type: none"> ●位置づけ 「匠の市民らぼ」の内、軌道に乗った市民活動。 ●目的 ワークライフバランスの観点から、市民が仕事を離れた時間でも、充実した市民生活をおくって下さるよう、自主的な運営活動である「匠の市民さーくる」育成に配慮した取組みを実践する。。 ●メリット さーくる参加者にとっては、生きがいとなる活動と交流が行える。 会館にとっては、貸館利用を促進し、利用者の拡大(利用者数の増加、質の転換)を図ることができる。 ●支援策 「さーくる・スタートアップ・サポート制度」・「匠の市民さーくる掲示板」 ・「匠の市民さーくる募集チラシ」・「ボランティア活用」 	

分類	事業目的	方向性	具体的施策	事業内容	備考	
（キ） （し） （し） （キ）	（つづき）	（つづき）	横浜市技能文化会館 フェア	匠の市民活動交流	<ul style="list-style-type: none"> ●位置づけ 技能文化会館ならではのイベントとして、他イベントとの差別化を図る。 ●目的 匠の技と魂(こころ)に関するイベントは、技能まつり・横浜マイスターまつりが中心となるため、技能文化会館フェアは、「市民が匠の技と魂(こころ)に出会う場所」として、焦点を絞る。 ●内容 <ul style="list-style-type: none"> ○技の披露・体験 匠の市民らぼ、匠の市民さーくる活動の発表の場。 技能職・マイスターの技と市民の技で、共通の要素を発掘し、連携展示や交流を行う。 体験会の実施によって、継続・定着へと結び付ける。 ○新たな出会いによる化学反応の創出 技能職・マイスターと市民活動の出会いはもちろんのこと、今まで技能文化会館に 来館されたことのない、新しい市民との出会いと交流により、新たな利用者・市場の 発掘を行う。 ○交流を促進 勤労者間の交流を促進するために、 創作発表展のほか、市民映画会(利用者交流イベント)などを実施する。 	
				見本市チャリティー	<ul style="list-style-type: none"> ●位置づけ 地域・社会貢献の一環として、匠の魂(こころ)講座・匠の市民らぼ・匠の市民さーくるでの 活動を発信する。併せて、技能職振興・勤労福祉の自立支援の観点から、販路拡大・自立 の可能性を模索する。 ●目的 チャリティーによる、横浜市技能文化会館としての認知度・イメージアップ。 ●内容 匠の市民・技能職・マイスター作品の展示、チャリティー提供 	
				利用者懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ●位置づけ 新たに設置する利用者懇談会で、利用者の意見を取り入れた管理運営を行う。 ●対象 <ul style="list-style-type: none"> ○主催者向け(教室、サークル) 年1回 ○利用者向け 年1回 	

6. その他の事業

分類	事業目的	方向性	具体的施策	事業内容	備考
その他の事業	技能文化会館の設置目的を踏まえ、より多くの技能職・勤労者・市民が活用する施設として、各種専門機能や拠点機能が発揮できる会館運営を行い、適正な事業収入を確保する。	より利用しやすい環境の提供により、利用率の向上を図る。	貸館事業	<p>横浜市技能文化会館の目的や施設の特徴を活かし、会館本来の事業である貸館事業による利用料金収入の拡大を図る。また、施設利用を促進するため備品(レンタル・販売)の充実やバック料金の導入を計画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自主事業の継続と魅力ある新規自主事業の開始 ●利用率の目標設定を行い、利用率アップの為に自主事業の積極的実施 (→5年後の利用率目標68%) ●リピート利用の促進のための割引カード発行や技能職者交流ラウンジの新設 ●会議室と備品(マイク・プロジェクター等)のセット料金、ホールとグランドピアノのセット料金など <p>また、施設職員立会いの下、会場設営を来館者が行う場合の利用料金割引制度の導入も検討予定。</p>	
			駐車場事業	機械設備・運営に起因する事故を皆無とすると共に、会館利用者に加え近隣来訪者の利用を促進し、駐車場利用収入の拡大を図る。	
			自動販売機	来館者ニーズに即した自販機選定を行い、適正な収入を確保する。	
			共益費等	会館使用者からの共益費収入	
			無線LANプリペイド事業	<ul style="list-style-type: none"> ●無線LAN広報の徹底 来館者の利便性向上を図るため、館内で利用できる無線LANスポット(HOTSPOT)の訴求を行う。 ●無線LANを単独利用する層の開拓(空き部屋の開放等、新施策の検討) インターネット閲覧関連事業を検討する。 	
			携帯基地局	●来館者が不自由なく携帯電話を利用できるよう、NTTドコモと携帯電話基地局の契約を行う。	
			新規事業のパイロット実施	<p>建物・立地を活かした会館事業を発掘をするため、新たな会館オリジナル事業の研究・開発を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●マラソン・お散歩支援・街歩き・観光情報・匠の技と魂まっぶ等。 	

7. 施設運営管理

分類	事業目的	方向性	具体的施策	事業内容	備考
施設運営管理	多くの市民が訪れる施設として維持管理を徹底し、安全・安心・快適な環境を提供すると共に、創意工夫により経費削減に努め、質の高さとコストダウンの双方を実現する運営を行う。また公の施設として平等・公平な利用の確保とコンプライアンスの徹底を施設運営管理の基本とする。	施設の管理運営にあたっては、利用者の安全確保、館内美化の維持、利便性の向上へ向けた最大限の努力を行う。	警備業務	開館及び、開閉館準備時間中の常駐警備（館内巡回・立哨・駐車場管理等）の実施、夜間における機械警備等、昨年度と同様に警備業務を行う。（三菱ビルテクノサービスへ委託予定）	
			清掃業務	開館日における全館内の清掃を実施。特にトイレやホール等の共用スペースの部分は清掃を徹底し、環境美化を図る。また、事務局メンバーも定期的に館内の清掃状況を客観的にチェックし、自ら率先して清掃美化を心掛ける。（清掃業務は三菱ビルテクノサービスへ委託予定）	
			多目的ホール管理業務	会場設営に関わる業務をシルバー人材センターに委託して行う。前月20日を目処に翌月スケジュールを人材センターに依頼し、人数調整を行う。各種設備・器具・備品の使用方法は全職員が熟知するよう指導徹底する。	
			施設管理（修繕）	施設利用における安全性を最優先とし、事務局と施設管理担当の三菱ビルテクノサービスと連携した定期的な施設巡回を行い、修繕必要箇所の早期発見に努め、横浜市へ怠りなく報告し、事故を未然に防ぐ管理体制を敷く。	
			お客様サービスの充実	市民がより使いやすく、市民に「愛される施設」とするために、市民の声を全員が傾聴し改善を図る。	
			「愛される横浜市技能文化会館」職員のホスピタリティー意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●マネジメント体制：チームでの運営 <ul style="list-style-type: none"> ○館長を配置し、3チーム体制で運営 <ul style="list-style-type: none"> ◇運営チームリーダー（副館長） ◇事業企画チームリーダー ◇横浜しごと支援センター所長 ○方針 <ul style="list-style-type: none"> 各チームメンバーは開館時間に合わせ、来館者様窓口対応が滞りなく行える様に、勤務ローテーション制を組む。 また、週・月間リーダー会議を行い館内の課題共有化を図ると共に、改善点を明らかにし、全職員の成長を支援する。 ○新マネジメント体制の特徴 <ul style="list-style-type: none"> 新しいマネジメント体制の下、直接雇用の各社員がクロス・ファンクショナルで役割を担えるように動機付ける。 ●男女共同参画の観点 <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の観点より、制服を廃止し、より自律した社員の育成を目指す。 ●民間企業のノウハウの活用 <ul style="list-style-type: none"> ○高レベルのホスピタリティー教育 <ul style="list-style-type: none"> 雇用形態の違いによることなく（清掃員・警備員含め）、他施設（株式会社キャリアライズ・東京電力グループ）同様のレベルを維持する教育を徹底する。 ○ダイバーシティの実践 <ul style="list-style-type: none"> 年齢を問わず、シルバー人材や障がい者雇用を行う。 ○独自の人事評価制度 <ul style="list-style-type: none"> 独自の人事評価制度の実施による自己啓発・モチベーションアップを醸成するマネジメント運営を行う。 ●会館利用者の意見を反映する改善体制 <ul style="list-style-type: none"> ○会館利用者の意見を取り入れる仕組み作り <ul style="list-style-type: none"> 会館利用者の意見を積極的に傾聴する仕組みを実行する。 ○反映する運営体制 <ul style="list-style-type: none"> 改善を要する事項の柔軟な対応ができる運営体制を構築する。 ●会館使用者との緊密な連携 <ul style="list-style-type: none"> ○目的 <ul style="list-style-type: none"> 会館使用者との良好な関係の構築・維持・発展 ○内容 <ul style="list-style-type: none"> 会館使用者のご意見・ご要望を会館運営に反映・改善する。 また、事業の情報を収集し、利用者に積極的に提供する。 月1回の連絡会議。 	

8. 会館事業計画 年間スケジュール案

方向性	具体的施策	費用の有無	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
技能職振興事業	匠ブラザ	無料														
	匠の魂(こころ)講座 (旧 職人から学ぶ講座)	有料						3	3	2		2		2	12回	
	匠の出前講座 (旧 職人から学ぶ講座(出前事業))	有料								1		1			2回	
	技能職団体の活動サポート	無料														
	技能職者交流ラウンジ	無料														
	異業種交流イベント	実費							1			1			2回	
	横浜市事業との連携	有料					1		1	1						
	経営支援	専門家による経営相談	無料							1			1			2回
		専門家による経営支援セミナー	無料									1			1	2回
	後継者育成	インターンシップ	無料													
雇用による 就業機会確保事業	「自分を知る」	勤労者アセスメント	無料												495件	
		テーマ別ディスカッションの実施	無料													
	「相談する」就労支援セミナー	就労施設活用セミナー	無料					1			1			1	3回	
		就労制度・助成金活用セミナー	無料										1		1回	
		対象層限定就労支援セミナー	無料									1			1回	
	「職業能力を高める」スキルアップ	就職・転職準備PC講座	有料	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12回
		資格・コンピテンシー支援講演会	無料						1		1		1			3回
		資格取得講座	有料				1			1				1		3回
		スキルアッププログラム	有料					1			1				1	3回
		ストレスマネジメントプログラム	有料							1	1	1	1	1	1	6回
「就職先を探す」アドバイス	雇用就業相談員によるアドバイス	無料														
労働実務セミナー	経営者・人事担当者向け労働実務プログラム	無料				1				1			1	3回		
勤労者の福祉増進 ／文化の向上事業	匠の市民らぼ (旧 市民教室)	有料	20			5			11			4			40回	
	匠の市民さーくる	有料														
	横浜市技能文化会館フェア	発表・上映会	有料											1		1回
		利用者懇談会	無料													

9. 平成23年度収支予算書

【収入】

(単位:千円)

	科目	金額	内訳		
	収 入	市が支払う経費	118,868	●指定管理料	118,868
利用料金収入		65,500	●貸館	40,000	
			●駐車場収入	25,500	
会館事業収入		17,399	●匠の魂(こころ)講座	初年度12回	17,399
			●匠の出前講座	適宜	
			●技能職振興	(異業種交流イベント) 初年度2回・30~50人・懇親会費として実費。	
			●技能職振興	(横浜市事業との連携)	
			●「職業能力を高める」スキルアップ	(就職・転職準備PC講座) 月1回・8人・3,500円/人。	
			●「職業能力を高める」スキルアップ	(資格取得講座)	
			●「職業能力を高める」スキルアップ	(スキルアッププログラム) 各年1回	
	●「職業能力を高める」スキルアップ		(ストレスマネジメントプログラム)		
	●匠の市民らぼ				
	●匠の市民さーくる				
その他収入	3,150	●共益費・無線LAN等	2,150		
		●自販機	1,000		
収入合計		204,917		204,917	

【支出】

(単位：千円)

科目	金額	内訳		
人件費	86,725	●管理職者	館長、運営チーム、事業企画チーム、横浜しごと支援センター	24,675
		●事業企画担当職員		9,975
		●受付案内・庶務・経理担当職員		22,419
		●横浜しごと支援センター職員	情報コーナー利用受付	3,823
		●雇用就業相談員	社労士、企業人事系管理職経験者	14,549
		●弁護士相談員	弁護士	3,092
		●キャリアカウンセリング相談員	キャリアカウンセラー	1,807
		●人材採用、研修育成費	人材採用に伴う広告費、接遇マナー研修外部委託費年2回	711
		●事業コーディネーター	施設運営業務全般の事務支援、本部管理経費、その他 諸手続き業務等	5,674
		管理費	25,468	●建物維持管理業務
●駐車場機械リース	駐車場コンソールリース			1,654
事務費	24,653	●光熱水費		14,175
		●消耗品費等	テブラ事務用品、等	540
		●通信費等	通信セキュリティ環境維持、電話料金、郵便・宅配便代等	1,008
		●賃借料	コピー複合機、シュレッダー等備品リース	693
		●旅費、業務用交通費等	市役所管運連絡調整、本社等打ち合わせ交通費、営業活動費等	263
		●雑費	個人情報マネジメントシステム維持費等	525
		●図書購入費等	情報コーナー用図書、視聴覚資料等	1,395
		●備品購入費	職員用・利用者用PC、貸出用機器等備品購入及び維持管理費、LAN敷設費など	1,554
●修繕費		4,500		
会館事業費	13,334	●匠の魂(こころ)講座	初年度12回	
		●匠の出前講座	適宜	
		●技能職振興(異業種交流イベント)	初年度2回	
		●技能職振興	(横浜事業との連携)	
		●「職業能力を高める」スキルアップ(就職・転職準備PC講座)	各年3回	
		●「職業能力を高める」スキルアップ(資格取得講座)		
		●「職業能力を高める」スキルアップ(スキルアッププログラム)	各年1回	
		●「職業能力を高める」スキルアップ(ストレスマネジメントプログラム)	初年度6回	
		●匠の市民らぼ		
		●匠の市民さーくる		
		●横浜市技能文化会館フェア(匠の市民活動交流)	年1回	13,334
		●匠プラザ/技能職団体のサポート/交流ラウンジ		
		●経営支援(専門家による経営相談)	利用者ニーズにより回数を柔軟に決定	
		●経営支援(専門家による経営支援セミナー)	利用者ニーズにより回数を柔軟に決定	
		●後継者育成(インターンシップ)	モニターとして事業開始	
		●「自分を知る」勤労者アセスメント/テーマ別ディスカッションの実施	適宜	
		●「相談する」就労支援セミナー(施設活用/制度・助成金/対象層限定)	利用者ニーズにより回数を柔軟に決定	
●「職業能力を高める」スキルアップ(資格・コンピテンシー支援講演会)	各年3回			
●「就職先を探す」アドバイス	適宜			
●労働実務セミナー(経営者・人事担当者向け)	各年3回			
●横浜市技能文化会館フェア(見本市チャリティー・利用者懇談会)	年1回			
広告費	4,641	●ホームページ制作	初期投資120万を5年間に等分	252
		●ホームページ運営費	サーバー、メンテナンス費用	819
		●施設案内作成	総合案内、横浜しごと支援センター案内、施設利用ガイド等	1,050
		●広報印刷代	事業インフォメーション、事業チラシ類印刷	420
		●メディア広報代	駅広告、新聞折込、雑誌広告など	2,100
委託費	44,016	●設備点検保守業務	三菱電機ビルテクノサービス	3,607
		●機械設備保守点検業務	三菱電機ビルテクノサービス	2,797
		●清掃管理業務	三菱電機ビルテクノサービス	14,919
		●環境衛生管理業務	三菱電機ビルテクノサービス	1,715
		●警備業務	三菱電機ビルテクノサービス	5,271
		●維持管理用消耗品費	三菱電機ビルテクノサービス	2,046
		●設備遠隔監視装置	三菱電機ビルテクノサービス	504
		●建物診断	三菱電機ビルテクノサービス	437
		●多目的ホール管理費	シルバー人材センター	2,100
		●駐車場保守点検業務	三菱電機ビルテクノサービス	5,370
		●駐車場管理	シルバー人材センター	5,250
		会費	183	●諸会費
その他支出	5,897	●保険料	総合賠償責任保険、個人情報保護保険	105
		●印紙税等租税公課	年度協定書、講師ならびに業務委託契約等に伴う印紙代	210
		●目的外使用料	自動販売機、無線LAN	519
		●業務管理費	配置職員の総務、庶務、経理事務、教育研修、法定福利などに関する 本社支援経費等	5,063
支出合計	204,917			204,917